

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 28 年 8 月 24 日〔木〕 19:00～
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 6 名  
出席委員の氏名  
藤井 琢磨／楠田 哲／和泉 豊一／玉野 梨沙／星村 文乃／迫田 真吾  
放送事業者側出席者名  
麓 憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／渡 陽子／手蓑慎之祐／作井 美由紀

- 4 議題  
審議(「放送ディ！学：理科の時間：服部正策先生」)

- 5 議事の概要  
(1)審議(「放送ディ！学：理科の時間：服部正策先生」について)  
(2)次回の審議議題について

- 6 審議内容  
(1) 番組内容の審議(「放送ディ！学：理科の時間：服部正策先生」について)

### 藤井委員長：

それでは、今回の議題「放送ディ！学：理科の時間」について、ご意見、ご感想をいただきます。まずは、わたしからいいでしょうか。

この番組については、自分もリアルタイムで聴いていて、ためになる番組だと思います。自分も研究者としてこの島に来たので、大学の先生や研究者を紹介することがあるんですが、よく言われるのが、メディアで研究者や学識者が発言する時に、台本がないと、無責任なことを言ってしまって、事実として伝わってしまうのが怖い…という先生は少なくありません。

聴く方のスタンスとしては、新しい知識が増えるのは面白いと思います。こういうところでの研究者の話がすべてではないということを理解できるように、パーソナリティがフォローを入れたらいいと思います。

今回、服部先生がご自身で(一研究者の意見だと)言っていたので、聴きやすいと思いました。

番組の機能としては、お話してくださる人探しと、出演者とパーソナリティの掛け合いで、いかに新しい知識を引き出すかだと思います。資料としても、とってもいい番組だと思います。

### 楠田副委員長：

今回の番組の内容は「ハブ」。私は農家なので、ハブは割と身近な存在です。今朝も、畑に行ったんですが、有機栽培をしているので草がボーボーで、ハブ怖いな～と思いながら野菜を収穫しました。

沖縄のハブと徳之島のハブとこっち(奄美大島)のハブと、毒の違いも知らなかったし、対処の仕方も知らなかったし、マンガースバスターズの人が(毒を)飲んじゃったという話もあったじゃないですか。びっくりしました。僕的には、その時に丸田くん「夜はどうなったんですか？」なんて聴いてほしかった。あと、作井さんはハブのいない喜界島出身なので、作井さんからみた先生への質問があってもよかったんじゃない

ないかと思えます。

高校生で、ハブが大好きで新潟から来た子がいるんですけど、一緒に番組に出たら面白いのではないかと思いました。

#### 和泉委員：

引き込まれるように番組を聴きました。テンポのよさと、先生の話し方も上手で、耳に入ってくるな…と思いました。以前、仕事上でハブの対処法を習いましたが、先生の説明する対処法と違ったので、カルチャーショックを受けました。専門からすると、間違った意見でハブを見ていたんじゃないかと思いました。世界基準と違うともなったら、どこまで違うんだろう？と思って、そのあたりも面白さを感じました。

シガテラ毒については、体験談を交えて話す、実際に体験した人の話を聴くというのは、伝わり方がまた違いますね。奄美大島の身近な題材で選んできたというのもいいと思えます。

#### 星村委員：

構成がいいなと思ったのが、ずっとハブでいくと思っていたのが、魚の話もあったので聴きやすかったし、間に曲もあったので、切り替えられる構成がよかったです。中身の部分では、実は、私の母もハブに噛まれたことがあって、3ヶ月くらいすごい腫れたんですよ。ハブの話を聴いて、切ない思いもありましたが、新しい知識が入ってきました。

ウギハギ（サトウキビの皮むき）をしていて、ハブに噛まれたんですけど、父が毒を吸い取っていました。後日談ではあるんですけど、総入れ歯になったので、やっぱり切開がいいんだと思いました。ハブに噛まれたら、縛るといいと信じていたので、新たに知ることが多かったです。

魚の話は、体験談が聴けたので、すごく引き込まれました。私は、魚の内容がおもしろかったです。

#### 玉野委員：

この番組の本放送は、通して聴くことはなかなかないのですが、7時からの再放送は、ゆっくり聴ける時もあります。リスナーが、話題のネタがゼロベースだったら、学校形式は、とても聴きやすい作り込みだと思いました。あと、感想になってしまうんですけど、ハブの持っている成分が違うとか、処置の仕方など、島外から来た人にはいい情報発信だと思いました。番組を聴いて、気になってインターネットで検索をしたんですけど、著書・内容とか紹介したり、Facebookで予告をして、質問を募ったら、参加型で面白いんじゃないかと思えます。

#### 迫田委員：

自然の中でのハブに遭ったことがなくて、「ハブと愛まショー」（という名のハブショー）では見るんですけど。

（一同笑い）

ハブと愛まショーでの知識はあります。専門家ごとに、諸説あるので、知りすぎてどれが正しかったのか混乱しちゃうので、統一された対処法があったらいいなと思えます。

インターネットで情報があれば、観光客も検索することができる。ラジオだと、リアルタイムで聴いてないといけないので、そういった情報の発信もあったらいいなと思えます。

魚の毒も、当たったことがないので、「食べないと毒があるかどうかわからない」というところが、こわいなと思いました。あたらな調理の仕方とかあったらいいなと思いました。

ラジオ以外でも、なにか聴いて処置の方法とか、訓練とか受けたことないので、実際に訓練してみたいと思いました。

**和泉委員：**

吸引機もあるんだけど、使い方は実際に使わないといざという時に、使えないですよ。吸引機は、引くんじゃなくて、押すんですよ。

(一同驚き)

**事務局 渡：**

テレフォンショッピングみたいに、「吸引機売ってます」というのもいいかもしれませんね。

(一同笑い)

(ここで、ハブ雑談、吸引機おみやげ雑談)

**和泉委員：**

奄美の子どもと、喜界島のようにハブのいない島の子どもと、意識が違うんですよ。なので、ラジオで啓発するというのはいいと思います。

**事務局 丸田：**

対処法であったり、この番組は「海の危険生物」という回もあるんですが、そういった内容は、鹿児島県がホームページで紹介をしています。そういったところに結びつけられるようなことを、わたしたちで更新するのは難しいので「橋渡し役」ができればな…とみなさんの意見を聴いて思いました。

**藤井委員長：**

過去の回の先生と所属と紹介するだけでも、情報を追いやすくならないかと思えます。

**和泉委員：**

ハブ咬傷が多い時期に、このテーマを選んだというのは、助かりますよね。

**玉野委員：**

テーマはどのようにして決まるんですか？

**事務局 丸田：**

テーマは、1年を通して季節に合ったものを選んでいきます。今回の議題は「理科」の時間ですが、他にも社会の時間もあって、風俗・儀式儀礼のことなどを紹介しています。

**藤井委員長：**

再放送については？

**事務局 丸田：**

お昼の1時に放送したものをその日の夜7時から再放送をしています。季節のおまつりなどは、その季節が来た時に再放送をすることがあります。

**事務局 麓：**

この番組は、開局してちょうど7年目にスタートしました。自分たちのテーマでもありますけど、島にシマを伝えるという中で、「コンセプトがあってみんなが勉強する番組があったらいい」ということで始めました。まじめに語ると、聴きにくい部分もあるだろうと、割とポップ感も出しながら、どうすれば面白く聴いてもらえるだろうと制作してきました。

みなさん、「意外とおもしろい」と言ってくださっていて、ここからブラッシュアップしていかないといけないと思っています。ここから、特別番組だったり、外に出るイベントとしての可能性もあるんじゃないかと思っています。大学の先生もそうなんですけど、地域の中には「先生」と言われるくらいモノゴトに長けた方がいらっしゃると思うので、みなさんにもご紹介いただけたらと思います。

**和泉委員：**

今回の番組は、文化的な内容でもありますので、公民館で流すような形もいいと思うので、行政に対してもあまみエフエムから働きかけていただけるとありがたいと思います。

**藤井委員長：**

放送ディ！学以外についても、ご意見・ご要望があれば、お願いします。

私の妻の意見なんですけど、最新シングルチャートがあればいいな、と言っていました。奄美の歌手アーティストの曲を聴けるのは、いいなと思って、楽しみにしています。

**事務局 渡：**

都会では聴けない、島のアーティストを紹介したいという思いもあって、高校の文化祭も録音して紹介したところ、周りから声をかけてもらって嬉しかったです。流行している曲なども、設けながら、整理できたらなと思っています。

**事務局 丸田：**

是非、リクエストがあれば、どんどん教えてください。

**楠田副委員長：**

放送ディ！学の中で流れていた曲は、内容と関わっていたりするんですか？

**事務局 丸田：**

全く関連がない曲もありますし、話の内容と関連した選曲をするときもあります。

**星村委員：**

放送ディ！学に参加したい、出てみたいという方はいるんですか？生徒役として出たい！という一般のリ  
スナーはいませんか？

**事務局 丸田：**

まだそういったお話はないですね。ただ、ラジオの密室で聞く感じではなくて、みんなで聴いてもらう感  
じで。先ほど、代表も言っていましたが、いろんなツアーもできるだろうし、体験型もできるだろうし、外  
に出た「ディ！学」もしてみたいなと思います。募集もしていないので、お声掛けもないですね。

**事務局 麓：**

学生を交えるのもいいですね。

**玉野委員：**

先生との打ち合わせは、どのくらいしているんですか？

**事務局 丸田：**

先生との打ち合わせは、だいたい1時間くらいです。今回の場合は、ちょうどシガテラの話がありました。  
先生は、ハブだけでなく、他の毒についても研究をされているんですが、打ち合わせの段階で「シガテラ  
に当たったことがあるんですよ～」ということをおっしゃっていたので、お願いしました。

**迫田委員：**

理科以外の時間ってあるんですか？

**事務局 丸田：**

社会の時間もあります。節句ごとの祝い事とか、こういう行事があります、旧暦でのしごと日です。など、  
民俗学とお料理のこととリンクしてお話しています。

**迫田委員：**

他にも、増やしたりするんですか？国語の時間とか。

**事務局 丸田：**

国語の時間となると、「方言」になると思うんですが、体系的にどのように紹介するのか、少しひねってい  
い形ができればなと思っています。

**藤井委員長：**

方言だったら、生徒役をつれて来て、おばあと対話する番組があつたらいいですよ。

**和泉委員：**

あと、島唄が流れるのはいいのですが、何を歌っているのか、私たちがわからないので、解説があればい  
いと思います。歌っている方言も、今と違うので、自分なんか何を歌っているのかわからないことがあ

ります。そのあたりをラジオで流すのも面白いんじゃないかなと思います。

**藤井委員長：**

居酒屋とかでやっている感じですね。島の方もシマ唄のことを知らないことがあるっていうのは、初めて知りました。

**玉野委員：**

他のラジオ局でやっているのが、先に歌詞を言う人がいて、そのあとにみんなが続いて歌うという方法もいいんじゃないでしょうか。

**和泉委員：**

シマグチラジオ体操は、その逆パターンですよ。

**事務局 麓：**

シマ唄も1曲ずっと流せば、覚えるのかもしれませんがね。

(次回の番組審議会の日程を決めて、閉会)

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

① 自社放送:平成 28 年 9 月 17 日(土曜日)6:00~放送

② 書面の備置き:平成 28 年 9 月 17 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を問う法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応

③ インターネット:平成 28 年 9 月 17 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

9 その他の参考事項 なし